

# 百党の街の名門オーケストラが贈る薫り高いボヘミアの響き。

「百塔の街」と呼ばれるヨーロッパで最も美しい都市のひとつ古都プラハ。

この街が世界に誇るオーケストラ、プラハ交響楽団が

3年ぶりの来日公演を行います。

スラヴ系の作品を中心とした薫り高い名演で、わが国でも多くのファンに愛されているオーケストラですが、特にドヴォルザークやスマタナの作品に宿るボヘミアの魂を感銘深く響かせる比類ない名人芸は、ヨーロッパ、そして世界に冠たる音楽都市のオーケストラが持つ民族の誇りを感じさせずにはいられません。

今回の札幌公演でタクトを執るピエタリ・インキネンは、21世紀の音楽界をリードする若手指揮者の雄として世界から熱い注目を浴びており、2015年9月からプラハ交響楽団の首席指揮者に就任が決定しております。

また、今回共演を果たす札幌出身の成田達輝は、2010年ロン=ティボー国際コンクール2位、

2012年エリザベート国際コンクール2位と相次いで世界的コンクールで受賞を重ね、

一躍、国際舞台へと躍り出たヴァイオリン界期待の超新星です。

2016年新年、注目の顔ぶれで贈る、薫り高い名演への期待は高まるばかりです。

## ピエタリ・インキネン (指揮) Pietari Inkinen, Conductor

聴衆、批評家、そして演奏家たちからの賞賛を獲得するインキネンは、世界各地で活躍の場を広げ注目集めている。2015年よりプラハ交響楽団、ルートヴィヒスブルク城音楽祭の首席指揮者に就任。現在、日本フィルハーモニー交響楽団の首席客演指揮者を務め、2016年9月には首席指揮者に就任予定。

これまでに、ニュージーランド交響楽団音楽監督を8年間務めたほか、ミュンヘン・フィル、スカラ・フィル、ロサンゼルス・フィル、



バイエルン放送響、ドレスデン・シュターツカペレ、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス、フランス放送フィル等が含まれる。オペラの分野においても、ベルリン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場をはじめ、各国のオペラ・ハウスに出演。

録音は、ニュージーランド交響楽団「シベリウス：交響曲全曲」、日本フィルハーモニー交響楽団「シベリウス：交響曲第2番」(ナクソス)、サイモ

ン・オニール／ニュージーランド交響楽団「父と子～ワーグナー：アリア集」(EMI)などがある。

フィンランド出身。シベリウス音楽院でヨルマ・パスラ、レイフ・セーゲルスタムらに師事。インキネンはヴァイオリニストとしても一流であり、ザハール・プロンに師事、ソリストとしても活躍している。

## プラハ交響楽団 Prague Symphony Orchestra

プラハ交響楽団は1934年の秋、指揮者のルドルフ・ペカーレクによって創立された。彼は、この新しい楽団の活動分野を「フィルム」、「オペラ」、「コンサート」と定義し、そのプラハ交響楽団は1934年の秋、指揮者のルドルフ・ペカーレクによって創立された。彼は、この新しい楽団の活動分野を「フィルム」、「オペラ」、「コンサート」と定義し、その略称であるFOKは同楽団の名称の一部となった。FOKは、チェコスロバキア放送の生放送に定期的に出演することによって名を広め、経済的に存立できる団体に成長したが、この活動の主たる推進者として創立以来活躍したのはヴァーツラフ・スマーチェクであった。

スマーチェクは短期間のうちに、同楽団を国内の熾烈な競争に充分に耐えうる大規模な交響楽団に発展させることに成功した。1942年には、首席指揮者に就任し、その立場により30年間にわたって同楽団を率

## PRAGUE SYMPHONY ORCHESTRA New Year Concert

## 成田達輝 (ヴァイオリン) Tatsuki Narita, Violin

「偉大な名手パガニーニのライバル成田達輝」の見出しで「パガニーニと堂々と競い合う卓越したソリストとしての姿を示した。困難なテクニックを一から十まですべて難なくこなし、驚くべき優れた技量と他では耳にできない音色で才能をすべてみせつけた。彼の音楽に聴衆はこれまで経験したことのない衝撃を受け、この驚くべき天才を舞台から下がらせてくれなかった。」

2012年3月26日カントロフ指揮ドゥエ管弦楽団とパガニーニのヴァイオリン協奏曲第1番を共演時の批評訳より(2012年4月1日付「La Voix du Nord」掲載)

1992年札幌市生まれ。3歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を卒業後、11年9月よりパリ国立高等音楽院で学ぶ。2010年ロン=ティボー国際コンクール第2位、サセム賞、12年エリザベート国際コンクール第2位及びイザイ賞を受賞し、一躍脚光を浴びる。

これまでに、カントロフ/ドゥエ管弦楽団、オルレアン響、ブリュッセル・フィル、クリヴィヌ/ルクセンブルク・フィル、尾高忠明/NHK交響楽団、山田和樹/日本フィル、下野竜也/読売日本交響楽団、現田茂夫/札幌交響楽団、沼尻竜典/名古屋フィル、梅田俊明/日本フィル及び東京フィル、飯森範親/東京交響楽団、小林研一郎/新日本フィルなどと共に演。2013年11月には初のCD「フランク：ヴァイオリン・ソナタ、フォーレ：ヴァイオリン・ソナタ第2番他」を発売。ホテル・オークラ音楽賞受賞。14年出光音楽賞、上毛芸術文化賞受賞。



使用楽器:匿名の所有者からの貸与を受けて、ガルネリ・デル・ジェス"ex-William Kroll"1738年製を使用。

いた。スマーチェクのリーダーシップのもと、FOK交響楽団は高い演奏水準を誇り、国際的な名声を得るオーケストラとなった。

1952年、プラハ市は同楽団に市を代表するオーケストラという地位を与えた。長く使われてきた「FOK」という頭文字を残し、オーケストラの新しい名称は「首都プラハの交響楽団FOK」となった。1957年には、ポーランド、イタリア、オーストリアとドイツを含む初の国外ツアーワーを行うことによって国際舞台に躍り出た。さらに、同楽団の実力を示す証として挙げられるのは、チェコおよび世界中の作品をレパートリーとしたレコード、ラジオ、およびテレビにおよぶ多様な録音作品である。

プラハ交響楽団はその歴史の中で、多くの優れた指揮者および広範囲のソリストたちと共に演している。同楽団は、ヨーロッパ各地と共に、日本と米国にて頻繁に演奏しており、その他にも南米、ペルトリコ、台湾、韓国、トルコ、イスラエルなどの国々を訪れている。